

1 TICADを通じた日本の対アフリカ支援の基本的考え方

- ◆アフリカの「**オーナーシップ**」と国際社会の「**パートナーシップ**」
- ◆**人間の安全保障**の理念を踏まえた**一人ひとりの保護と能力強化**

2 TICADを通じた保健分野への日本の貢献

- ◆四半世紀を超える歴史を誇る**TICAD**を通じ、日本はアフリカの保健・医療体制を中長期的に支える取組を実施。これらの取組が**コロナ禍において真価を発揮**。
- ◆日本は、2022年にチュニジアで開催予定の**TICAD8**を見据え、人間の安全保障の理念に立脚し、「**誰の健康も取り残さない**」という目標の下、アフリカでの**ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)**の達成に向けた取組を進める。

3 アフリカにおける日本の主な具体的取組

(1) **新型コロナウイルス感染症への対応能力の強化**

- X線装置・サーモグラフィー・救急車等の医療関連機材の整備支援
- UNDP、UNICEF、アフリカCDCなど国際機関等を通じた支援（保健・医療物資の供与や技術協力等）
- 医療従事者等の研修・保健サービス提供・医療体制整備等の支援
- 国際機関等との協力によるワクチン・診断・治療薬の開発及び公平なアクセスの実現（Gaviワクチンアライアンス、グローバルファンド、CEPI等）

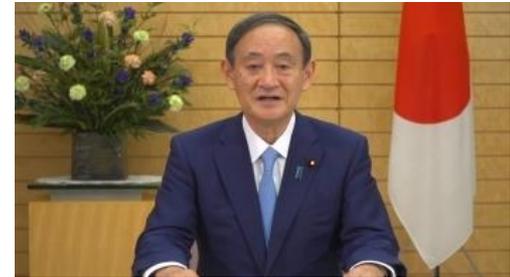
(2) **強靱で包摂的な保健・医療システムの構築**

- 保健・医療システムを強化するための二国間協力（ケニアの中央医学研究所支援等）
- 保健・医療システムの基盤となる人材育成（ガーナでの母子手帳の普及等）
- 円借款による保健分野の政策改革支援（ナイジェリアにおけるポリオ撲滅事業等）
- グローバルファンド等を通じた感染症対策の支援
- アフリカ健康構想に基づく持続可能なヘルスケアの構築

(3) **社会・経済面の諸課題への対応**

- 社会： サバクトビバッタ、洪水等の被害に対する人道支援（難民等への食糧、栄養改善、緊急物資支援等）及び開発支援（教育、スポーツ普及等）
- 経済： G20の一員としての債務支払猶予の実施、イノベーションと投資の促進（官民連携による取組を含む）、産業人材育成、質の高いインフラ投資等
- 平和と安定： アフリカの平和と安定に向けた新たなアプローチ（NAPSA）の下、制度構築・ガバナンスの強化・PKO訓練センター支援等

第75回国連総会における菅総理大臣
一般討論演説（2020年9月26日）



（出典：内閣広報室）

「**次なる健康危機に備え**、これまで以上に途上国での病院建設に力を入れるとともに、機材の整備、人材育成などを通じ、各国の保健医療システム強化を支援していきます。
（中略）**アフリカでは疾病予防管理センターを支援していきます。アフリカにおいては、TICADを通じて、長年行ってきた保健分野の人材育成や施設整備などの取組が、真価を発揮しました。**日本が設立を支援し、検査技師の育成に協力してきたガーナの野口英世記念・医学研究所は、ガーナのPCR検査の最大約8割を担う、コロナ対策の拠点となっています。」

ガーナ
野口記念医学研究所



（出典：飯塚明夫/JICA）